

令和7年度 保育園関係者評価

施設評価シート

すずかけっこ保育園

保育園関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和 8年2月4日(水) 9:30～

場所 (すずかけっこ保育園会議室)

【保育園関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

「明るく のびのび 元気な子」

～一人ひとりのえがおを大切にしよう～

～子ども達に寄り添い心を豊かにする～

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
保育園評価の具体的な目標や計画】

歌・絵本・食を通して様々な人(異年齢・地域)との関わりを深めよう
～感性・生きる力を育む～

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	3	グランドデザインは園内の掲示での周知や、園内研修で取り上げる内容であるため、理解はできている。グランドデザインへの意識には個人差があり、年長児以外のクラスでは7つの活動(サッカー・太鼓)をもう少し取り組むことができたのではないかという意見もあった。 重点目標は、異年齢の関わりを職員会議で発表したり、異年齢児の前で「おはなし」や「クッキング」「遊び」等を年1回、一人ひとりの保育者が企画(設定)して披露(展開)した。	4	職員がグランドデザインや重点目標の理解ができている中で取り組めている。また、その中で子どもに寄り添った保育が展開されている。 グランドデザインの理解と周知が職員全体で共有されているか、年度初めに話し合う場があると更に理解が深まっていくのではないか。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	異年齢での活動は、子どもたちの様子を見ながら季節を取り入れた活動(遊び、食育)を考え、実践できた。また子どもたちの興味のある絵本を行事などに取り入れることができた。 指導計画の5領域の中で「環境」(動植物の世話、畑、ものの扱い方)が活動として計画・実践することが不十分であった。 主任が計画をし伝えていくことが多かったためクラスで話し合っ計画する機会を設けたい。 部屋の環境としてもいつも同じ玩具になってしまったり、本棚の内容や掲示物が貼りっぱなしになっていて季節感が合わないことがあった。	4	保護者の利用者アンケートより、異年齢での関わりが感じられないとの意見があったが、何気ないところで子ども同士自然と交わっているのではないか。 保育者が見通しをもって様々な活動を計画実行し、次につなげている様子が伝わる。 環境構成、設定保育を職員が良く考えて、保育に活かしている。

<p>Ⅲ. 子どもにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る 	3	<p>職員が協力し合いながら一人ひとりの発達や個性を大切にしているため、子どもたちも安心して過ごせていると感じている。しかし、遊べない、遊び込めない子が主体的に遊びを選ぶ環境の構成やアプローチの仕方等が不十分であった。</p> <p>3,4,5歳児では虫や植物を育てる経験をしたことで思っている観察や触れ合うことができ、動植物を大切にすることができた。しかし、0,1,2歳児は動植物と触れ合う経験が少なくなってしまった。</p> <p>防災・防犯訓練がマンネリ化してしまい、危機感を持った訓練ができていない時があった。</p>	4	<p>反省として防災・防犯訓練のマンネリ化とあったが、防災訓練は毎月行っていて、防犯訓練も年2回設定されているので十分ではない。</p> <p>子ども一人ひとりに寄り添って対応しているのが、子どもの満足そうな姿から大いに伝わってくる。</p> <p>地域の方の協力を得て、さつまいも掘りやたくあん漬けなど様々な活動ができて良い刺激となっている。</p> <p>散歩先で出会った際に、子ども達の楽しそうに遊ぶ姿が感じられると共に、子どもの様子を見ていると草花等自然に触れる機会も多く取り入れていることが伺える。</p>
<p>Ⅳ. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	4	<p>子どもたちの様子に応じて送迎時に保護者へ日中の様子を伝えたり、必要に応じて面談等で個別に対応した。</p> <p>内容は来年度検討していきたいが、祖父母参観を行うことができ、世代間交流を深めることができた。</p> <p>玄関先の掲示、ブログ、等で情報を発信しているがブログは更新が滞ったり、内容が重なることも多いので改善していきたい。</p>	4	<p>個別相談や個別対応もできていると感じており、子どもの様子を意識的に伝えてくれている。</p> <p>忙しい保護者とのやり取りや、送迎時が祖父母の方が多い家庭にとっては、職員とのコミュニケーションが足りないのではないかと。又、6月から行っている保育参加は子どもの姿を知ることができる良い機会となっているが、一年の終わりの子どもの様子は送迎時だけでは分からない部分もあるため、子どもの様子を知る機会があると良い。</p>
<p>Ⅴ. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<p>園情報誌（ぬくとんぼ）で知らせたり、地域の方へは園見学を多く受け入れている。</p> <p>学生ボランティアや地域の方との交流も深めることができた。その交流の様子を掲示物で示す中で、他クラスの子ども達も興味を持って見ていた。</p>	4	<p>散歩先で地域の方との触れ合う機会がある。</p> <p>園見学を快く受け入れることで、地域の方との信頼が深まっている。</p> <p>授業や散歩等を通して掛川第二小学校の子どもや職員との交流が増えた。</p> <p>地域から見て安心して温かみのある園であることが伝わる。</p>
<p>Ⅵ. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	3	<p>重点目標の取り組みを通して、職員の得意なことや、やってみたいことを自身で考え、子ども達へ提供することができた。</p> <p>季節の移り変わりや伝統的な行事を伝えるところが不十分であった。</p> <p>掃除用具や倉庫の整理整頓等が行き届いていなかった。</p> <p>自ら研修へ意欲的に参加をし、職員間で伝え合い、学んだり、日々の保育に活かすことができた。</p>	4	<p>行事や季節感が子どもにきちんと伝わっていることが、子どもを通して感じられる。</p> <p>設定保育を上手く共有できる場があると良い。</p> <p>1人での設定保育ではなくグループにすることで、チームごとにブラッシュアップしていけるのではないかと。</p> <p>園の雰囲気作りが良く、上手くチームワークが取れていることが伝わる。</p> <p>職員が快適に業務ができる環境が整っていることが伝わってきた。</p>